

令和4年 網走市議会  
文教民生委員会 会議録  
令和4年6月20日（月曜日）

○日時 令和4年6月20日 午前10時00分開会

○場所 議場

○議件

1. 一般廃棄物処理について  
①委員会としての反省と検証について
2. 行政視察について

○出席委員（6名）

委員長	松浦敏司
副委員長	近藤憲治
委員	石垣直樹
	金兵智則
	工藤英治
	澤谷淳子

○欠席委員（0名）

○議長 井戸達也

○委員外議員（0名）

○傍聴議員（2名）

古田純也  
村椿敏章

○事務局職員

事務局長	林幸一
次長	石井公晶
総務議事係	早渕由樹
総務議事係	山口諒

午前10時00分開会

○松浦敏司委員長 おはようございます。

ただいまから、文教民生委員会を開会いたします。

本日の委員会は、所管事務調査と行政視察について御協議いただきます。

まず初めに、一般廃棄物処理について、委員会としての検証でございます。

この間、正副で協議をしてまいりましたので、その内容について、まず、副委員長のほうから御報告

お願いいたします。

○近藤憲治委員 ただいま委員長からお話ございました、この間の網走市のごみ処理手法の破綻に対する検証についてですね、文教民生委員会としても独自に行っていこうということで、正副委員長で、これまでの議論をまとめる形で作成をさせていただきましたのが、お手元に配付をさせていただきました、文教民生委員会としての検証を進めるに当たっての当面の視座という資料でございます。

資料の1ですね、こちらにつきまして、簡単に御説明をさせていただきます。

項目は大きく分けて、二つに分けてあります。

まず一つ目が、最終処分場が当初計画より早く埋まっている原因、これは目の前に起きている現象をまとめたものでありまして、市側の説明でも、この間、何度も説明されておりますが、最終処分場が早く埋まっている原因としては、生ごみの堆肥化が停滞している、それから紙おむつの行き場が確立されていない、埋立ごみに資源物が混入しているという、3点の理由が挙げられているわけなのですが、これを一つ一つ深掘りしていくとですね、少し見え方が変わってくると。

例えば、生ごみの堆肥化が停滞していると言いますが、分別協力率は、網走市はかなり高い割合で推移をしております、分別には協力していただいているのだけれども、なぜか堆肥化ができていない、それはなぜなのかという視点ですとか、埋立ごみに資源物が混入しているという点でも、3割は資源物だという言い分が市側にはあるようなのですが、6割強は分別がきちんとなされているわけです。

平均的な分別協力率から試算をした、最終処分場の運用計画ではなかったというのが、本質的な問題なのではないかという点もございます。

こういった点を少し深掘りをさせていただきたい。

大項目の二つ目として、当初計画と現実がなぜここまで大きく乖離をしたのかという点です。

これは、そもそも実現できないような、現実離れた処理計画をつくってしまったという入り口の問題と、それから、現実離れた処理計画がつけられ

てしまった背景ですね。

計画策定時において、コンサルタント業者や処理業者の説明、提案に対して、本当にできるかという、現実に即した検討や異なる視点からのセカンドオピニオンを求めることなく、いい話だけをうのみにしてしまったという現実もあったのではないかと。

では、その理由は何なのかという部分も掘り下げていく必要がありますし、市民の皆さんからすると、これだけ分別に協力しているのに、なぜ、最終処分場はこのスピードで埋まっているのかという部分もありまして、そもそも、市民の皆さんが協力しやすい分別ルールだったのかどうかという点の検証も必要であります。

また、現行のリサイクル施設や最終処分場は、完成直後から様々の齟齬が明らかになっていました。

後追いで、結果的におむつは搬送して焼却しなければならないだとか、堆肥化施設は増強しなければならないだとか、後追いの予算措置が必要でありましたが、なぜ、このようなずれた規模感や設備になってしまったのかということの検証も必要であります。

また、計画が実際に動き始めてから、埋立量で言えばですね、もう1年目から大きく乖離していたわけなのです。

しかし、そのずれがあるにもかかわらず、なぜ効果的な改善や修正が図られなかったのかという部分の検証も必要です。

以上、幾つかの視点で書かせていただいておりますが、今日は皆さんの御意見も伺いながらですね、文教民生委員会としての検証作業を、これから進めてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

**○松浦敏司委員長** 今、副委員長のほうから、皆さんに報告を行いました。この後は休憩して、皆さんの意見などをまとめ、取りまとめをしながらというふうに考えております。

今日、結論を出すというものではありませんので、率直な御意見を後ほど伺いたいと思います。

それでは、暫時休憩いたします。

午前10時05分休憩

午前10時59分再開

**○松浦敏司委員長** 再開いたします。

休憩中に、いろいろ皆さんから御意見を頂いたところであります。

前段で正副がお示した、最終処分場が当初計画

より早く埋まる原因ということで、3点ほどあります。

それから、当初計画と現実の乖離の原因ということでは11項目ほどありました。

そういった中で、こういったチェックポイントとなる問題であるということで、今後の計画にはこういったものをしっかり活かしていくということが大事だというような、こういう意見もございました。

いずれにしても、今回のこの検証が、これででき上がったというものではありませんので、今後また、理事者側から出てくる反省と検証というものもあると思いますし、そういった状況も見ながら、今後またこれらを充実させていくというふうにしていきたいというふうに考えております。

ということで、今日のところは、この部分については、終了したいと思います。それでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

では、そのようにいたします。

---

**○松浦敏司委員長** では、次に、行政視察について移りたいと思います。

6月17日の当委員会において、10月に実施することに決定いたしました。行政視察についてであります。

本日の委員会では、委員の皆さんから視察項目、視察先などについて、案を出していただきたいというふうに思っております。

視察項目、あるいは視察先について、皆さんからの御意見を伺いたいと思います。

どなたからでも。

**○澤谷淳子委員** 頂いている資料で、本当にどこもみんな見たいくらいなのですけれども、バイオガス化と焼却処理を両方やっている、兵庫県の、読めないけれども……南但……とか、組み合わせてやっているところを見てみたいなどと思いました。

ここに、南但にしろというのではないですけども。

**○松浦敏司委員長** ほかにどうですか。

**○金兵智則委員** 今回の視察については、やはり網走市の一番の問題となっている廃棄物処理関係で、やはり、中間処理は様々な今、技術が出てきておりますので、中間処理に対しての視察、ちょっと広域というところまで手を伸ばす広域についてはね、ちょっとほかのところでも見るので、やはり中間処理

を中心に、先進的なことをやっている市、町を、正副委員長のほうでお任せをしてというのはちょっと御負担かもしれないですけども、検討していただいて、お示しをしていただくという方法がいいのかなというふうに思います。

○松浦敏司委員長 ほかにありませんか。

澤谷委員のほうからもありましたし、案と言いますか、特徴的な、先進的な場所については、皆さんのお手元に資料もあると思います。

では、今、金兵委員から提案があったように、正副のほうである程度まとめて、後ほど決まった段階での確認をしていきたいというふうに思います。

ただ、視察先については、今、コロナの状況がある程度落ち着いているとはいえ、受入れを断るような自治体もあるかもしれません。

それは、そのときにまた対応を考えていきたいというふうに思います。

では、そのようなことで、正副で今後決めていきたいと思います。

そういうことで、今日のところは終了したいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

では、これで文教民生委員会を終了いたします。  
御苦労さまでした。

午前11時04分閉会

---